

競技上の注意事項

- 1 選手の頭髪・身なりなどは中学生らしく、試合中はもちろんのことスポーツマンらしい態度で大会に参加すること。
- 2 応援については、次の事を守って行うこと。
 - ① 応援は、監督が責任をもつ。
 - ② 応援はあくまでも自チームの応援であって、野次など相手チームや選手が不快な思いをいだいたり、相手チームに不利を招いたりするような応援をしない。
 - ③ 自チームの攻撃の時に、鳴り物応援を使用してのまとまった応援をしてもよいが、相手チームの攻撃中（インニングの自チームの攻撃が終了したときから）はまとまった応援を行わない。応援と一斉で行う応援すべてを指す。自チームが守備側の時は、座っていることが望ましい。また、ベンチ入り選手によるベンチ内での応援歌応援も控える。
 - ④ 紙吹雪・紙テープ・個人名を書いたのぼりを使うことは禁止する。
 - ⑤ 拡声器や音響機器の使用は禁止する。
 - ⑥ 応援席については会場で指定された場所に限る。
 - ⑦ 応援席を散らかさず、ゴミは持ち帰り、美化に心がける。
- 3 監督等の服装については次の通りとする。
 - ① 監督・コーチは選手と同じユニフォームを着用し、監督は30番、コーチは29番、28番の背番号をつける。ただ、コーチではあるが、グラウンドに出てノックをしない場合は、平服でも可とする。平服は、ワイシャツ・ネクタイまたは白のシャツ・ポロシャツとし、選手と同一の帽子を着用する。ただし、女性の場合は考慮する。
 - ② サングラスは使用しない。事情がある場合は大会本部の許可を得る。
- 5 背番号は、一桁までは原則としてポジションを示す数字であり、全員が続き番号であること。
- 6 医療を目的としたサポーター等の使用は認めるが、強化目的の使用は認めない。
- 7 試合進行や大会運営の円滑化のため、次のことを留意する。
 - ① 無用なタイムをとることを慎む。
 - ② 先頭打者とベースコーチは攻撃前のミーティングには参加せず、駆け足で位置につく。
 - ③ 出塁した際、バッティング手袋をベースコーチに渡さず、自分のユニフォームのポケットの中に入れておく。走塁用手袋に変えるためにタイムをかけ、試合の進行を遅らせてはならない。
- 8 熱中症対策として、次のことを実施する。
 - ① 四回終了後にグラウンド整備の時間を給水タイムとし、両チームともダッグアウトに入れ、休ませる。
 - ② 守備の時間が長引いた場合、インニングの途中でも給水タイムを設ける。（20分を目安に本部で判断し、打者のプレイ完了後にタイムを設ける。）
- 9 試合終了後の挨拶をもってすべてを終了とし、速やかにベンチを空ける。ただし、応援席への挨拶は認める。
- 10 各チームの監督は、試合終了後に大会本部に連絡し、次の試合日程や連絡事項の確認を行うこと。